

M I N N T

みんなで中野を楽しむ!

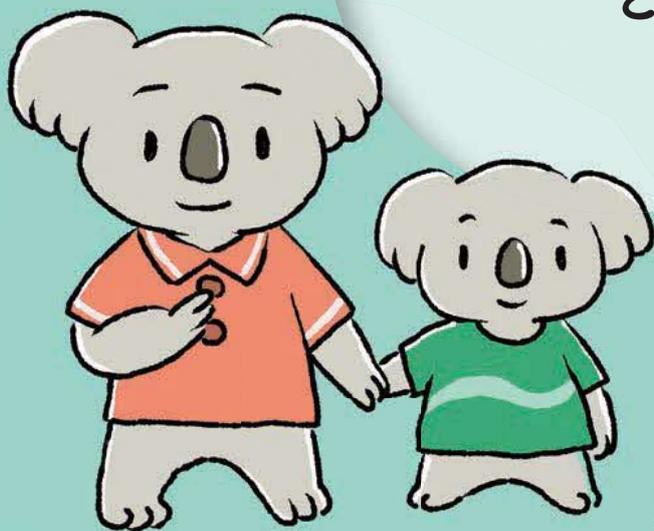
TAKE
FREE

Vol.

01

2025年
春号

小学生が見た、
中野区の文化と
芸術とグルメ。



講談師・中野区観光大使
神田山緑さんに
インタビュー

中野区の演劇発信地
ポケットスクエアで
特別座談会

若いアーティストを応援
デンギャラリーで
アートに触れる

中野×杉並×豊島
3区合同
アニメマンガフェス
に潜入

はじめに

中野区ミライ★ライター倶楽部とは、2024年の11月に、
1ヵ月限定で開催された、全4回のライティング講座です。

参加してくれたのは、中野区に住む

小学校5、6年生を中心とした8人のメンバー。

「楽しく・面白く!」をテーマに、遊びながら文章の書き方を学びました。

この『MINT(ミント)』は、講座の集大成として制作したものです。

中野区の文化・芸術を、メンバーたちが実際に取材し、執筆しました。

中野区の新たな魅力がたくさんつまった一冊です。

最後までどうぞお楽しみください。

コアラの巻

文章を書くための心得!

その一、文章は1人で書くものではない、
誰かと協力しながら書くもの

その二、文章は一回で書けるものではない

その三、文章は読んでくれる人の
ために書くもの



MINT

目次

03 はじめに

06 講師の神田山緑さんに会ってきた！

08 コラムその1

09 コアラ・リュウイチの秘密にせまる！

10 ポケットスクエアで、演出家さん・支配人さんと特別座談会！

12 コラムその2

13 デンギャラリーで、アートに触れてみた

15 おいしい中野グルメ探訪

16 中野×杉並×豊島アニメマンガフェス2024に行ってきた

18 編集後記

[ライティング]
コアラ・セリナ
Ayaka
ちいかま
Syufi

あさか さりまる
まなせんばい
ゆーかりのはっぱ (SH)
田中氏

[取材協力]
講師 神田山緑
ポケットスクエア
東京印
デンギャラリー
安原トモ
杉並区アニメーションミュージアム
中野区
餃子や獅丸 東中野店
炭火焼き鳥 串八珍 中野南口店

[編集]
中村未来
真島加代

[カメラ]
MUNEHIRO Photography

[デザイン]
坂従智彦

[動画]
やなPay (株式会社清談社)

[アシスタント講師]
豊永彩乃
大林亮太

[構成協力]
まふ先生
TAKAGI
車田真太郎

[スペシャルサンクス]
中野区の皆さん
手伝ってくれた皆さん

※この事業は「中野区シティプロモーション事業助成」を受けています。



「中野区のいいところをこつこつと集めてきました！」 講師の神田山緑さんインタビュー！



講師であり、中野区の観光大使も務める、神田山緑さんにインタビュー！
事前に「なんでも聞いてもらって大丈夫ですよ」という
心強いお言葉をいただいたので、思いきって、
あんなことやこんなことを聞いてみました。

Q1 なぜ講師になったのですか？

A 昔、人間関係にすごく悩んでいたときがあった。そのとき、講談をはじめて聞いたら、その悩みがなくなった。講談を聞いていると、その世界にポンと入ってしまった。話すだけで、その物語の世界に入っていくってすごいなと思って、私もそういうことをやりたいと思って講師になったのです。

Q2 講師はなぜ机を使っているのですか？

A これはね、机しぐだいと云います。白と黒に限れません。黒いのもあったりします。木でできていて、桜の木もあるし、栗の木もあり、ヒノキもあります。木がちがうことで色も違うんですよ。机しぐだいに本を広げて、講談を読むのです。



Q7 中野区の観光大使として、中野区が好きなのを教えてください。

A 中野区には中野を愛している人たちがいっぱいいるんだよね。中野区にはセントラルパークがあるよね。そこで毎月のようにイベントをやっている。あれは地域の人たちが関わっていて、中野をもっといろんな人に知ってもらいたいという気持ちを持っている人がいっぱいいるんです。このあいだも、盆踊りでギネス記録を作ろうとしたりね。海外の人もいっぱいいたでしょ？ 中野にはそういう中野愛にあふれた人たちがたくさんいるので、一緒に仕事をするのがたのしいんです。

おまけ

Q きのこの山とたけのこの里、どっちのほうが好きですか？

A どちらかといえば、きのこの山かな。私はまわりの人たちからお酒が好きだと思われていて、お酒をもらう機会が多いんだけど、飲みきれないこともあるんです。だけど、きのこの山は新幹線でも食べられるから、もらうならきのこの山のほうがいいかな。

神田山緑（かんだ・さんりよく）



講師（講談協会真打）。東洋大学・明治大学特別講師。2015年より中野区観光大使に就任。中野区の魅力を、講談にして伝えている。持ちネタは200以上。怪談も得意。テレビ、ラジオ、司会など幅広く活躍中。

Q3 張り扇おうちぎというのもありますよね。ハリセンのことですか？

A よく誤解ごかいされるんですけど、張り扇は全然ちがいます（笑）。ハリセンは、お笑いで使うものですね。張り扇はハリセンみたいに開きません。真ん中に竹が入っていて、固いんですよ。

Q4 講師が文章が上手なのはなぜですか？

A じつは私は、もともと文章を書くのは苦手だったんです。でも、いっぱい講談を作るうちに上手くなりました。たとえば今5000円札は津田梅子さんだよ。その津田梅子さんの話を今、講談で作っているんだ。津田梅子さんの本を30冊くらい読んで、それを30分の講談にしようと思っています。それを作るためにいっぱい本を読むし、いっぱい書くから文章力がつくんです。

Q5 講師は戦後の二時期、すぐく人数が減ってしまったと聞きました。どうしてですか？

A つまんなかったからです。当時の講師たちが、自分が面白いと思う講談ばかりやってたら若い人が来なくなって、だから時代に合わなくなっちゃったんだ。講師も、時代に合わせると面白くない話をしていけば、お客さんの数も、講師の数も増えたと。でもそういうことをしてこなかった。「俺達はこのなんだ」っていうのをお客さんにおしつけてたんだ。だから一度絶滅しそうになったんだ。でもいま、講談はチャンスなんだよね。講談ってアニメとの相性がとても良いんです。たとえば『鬼滅の刃』とか、すごく講談要素が強いんです。勧善懲悪かんぜんちやうあくっていう、正義の味方が悪者を退治していくストーリーは講談の定番の構成なんだよ。

Q6 講師をしていると、むずかしいと感じるところはなんですか？

A 話をもっとうまく聞きたいと思うのに、ちゃんとして伝わらないことがある。そういうときはむずかしいと感じるね。ここで笑わせたいなと思って、笑ってくれなかったりとかするでしょ。そうすると、やっぱり悔しい思いをする。次にやったときにもっと改善かいぜんして、お客さんの前に出したときにどうなるかな？ と考えながら、くり返しくり返しやっています。

キミは一体だれなんだ!? コアラ・リュウイチのひみつにせまる!

中野区ミライ★ライター倶楽部の公式キャラクター、コアラ・リュウイチ。
見た目はかわいいコアラだけど、じつはよく知らないんだよね。
……ってことで、リュウイチにインタビューをしたよ。普段何してるの?
どこに住んでるの? など、気になることを全部聞いてみたよ!

プロフィール

出身…オーストラリア
(現在は港区在住)。
家族構成…
リュウイチ(父)、
たけし(子)。

一日の過ごし方

睡眠20時間。起きているのは4時間。
ゲーム1時間(たまに夢中になって4時間やってしまう)。
ユーカリさがし1時間。食べるのに2時間。(よくかんで食べるから、時間がかかる)



ファッション

お洋服は、自然にやさしい古着を着ているよ!(地球温暖化対策ですね)
服がオレンジ色なのは、明け方に起きたときに見る太陽の色と同じだからだよ。(朝日は、生きる希望的な感じますよね!)
たけしの服が緑なのは、たけしは緑が好きだからだよ!(……ふかい意味はなかった)

好きなこと

寝ることが好きで、ゲームも好き。ゲームはマイクラフトが好き。マイクラフトは静かなところがいいんだ。4時間穴を掘ったりしたよ。キャラクターはイカが好き。お菓子だったらアルフォートが好き。ユーカリの葉も好き。

中野区 ミライ★ライター倶楽部 こんなことをやってみました。その1

第1回『書かなくていい! 思ったことを喋ってみよう』 ～文章の書き方のヒミツ、最初におしえます～



記 念すべき第1回目の講座。メンバーたちはみんな、ちよっぴり緊張気味? でも大丈夫。大人たちは、それ以上に緊張していたよ。とりあえず、なんでもバスケットをして緊張をほぐしたよ。「どうして文章を書くのは難しいの?」「文章を書くために大事なこと」を座学で学んだあとは、講師考案の「シン・五感観察作文ゲーム」を実施(やり方はページ下)。ゲームを通して、みんなで一つの作文を完成させました。終わったあとは、ドラゴンフルーツをみんなで食べたよ。

第2回『気になるあの人取材してみよう!』 ～質問次第で、文章の質は変わる～



作 文を書くためには、準備が一番大事。必要な情報を、効率よくゲットする力が求められます。そこで、講座の公式キャラクター、コアラ・リュウイチに来てもらい、みんなでインタビューの練習をしました。いろんな質問を考えて、リュウイチに答えてもらったよ。インタビュー終了後は、ゲットした情報をみんなで文章にしました。コアラ・リュウイチがどんな子なのか、次のページにまとめたので見てね!

『シン・五感観察作文ゲーム』の遊び方

- 1 5人1組のチームに分かれます。
- 2 各チームおなじ5枚のカードを1人1枚だけ手に取ります。
- 3 カードには五感(触覚・嗅覚・聴覚・味覚・視覚)の文字が書かれています。誰がどのカードを担当するかチーム内で確認。
- 4 各チームのテーブルの上にはナゾの箱があります。この箱の中身はなんなの? カードで担当した五感のみを使ってチームメンバーに伝えます。
- 5 それぞれ五感で感じたことを紙に書き起こします。
- 6 5で作ったメモを使って、チーム内で一つの文章にまとめます。
- 7 文章が完成したら、チームごとに発表!



演出家さん。支配人さんと特別座談会！



東京印 produce「放課後のファラソド」の一場面をバシャリ。

中野区で演劇を観るなら、ポケットスクエア。ザ・ポケット・劇場MOMO・テアトルBONBON・劇場HOPE、4つの劇場が集まっています。今回は特別に、劇団「東京印」さんの稽古を見学させていただきました。キラキラしたステージを見たあとは、劇団を主宰する長戸さんと、ポケットスクエア支配人の寺戸さんにインタビュー。貴重なお話を聞かせてもらいました！

ニッポン広しといえど、小劇場4つが集まるのはここだけ！

— 今、稽古を見させていたただいたんですけれど、今回のお芝居って、どんなお芝居なんですか？

長戸さん（以下、長戸） 学校が舞台となったお話です。さつき見てもらったのは、文化祭のシーンです。— そうなんです。すごく迫力があって、目が追いつかなかつたし、役者さんたちに手をふってもらえてうれしかったです！ ポケットスクエアの一番の魅力って、どこだと思いますか？

寺戸さん（以下、寺戸） ポケットスクエアは4つの劇場が集まっています。ここに来れば、365日面白い芝居を何かしら絶対見られるんですよ。そこがうちの劇場の一番の強みですね。

長戸 新宿とか下北沢とか劇場があつまる場所のほかにもあるけど、ポケットスクエアは一つ一つの劇場の距離が、とても近いんです。— たしかに近いですよ。でも4つもあつたら迷っちゃいそう。

長戸 ぶらっと遊びに来て、この劇場に行ってみよう、次はこの劇場に行ってみよう！ と、考えるすてきな空間だと思います。

寺戸 ポケットスクエアみたいな場所は、日本の中でもここだけだと思いますよ。— 日本……すごすぎる……日本って広いでもん

ね。

本当にあった劇場のこわい話！！

— 劇場で心霊現象とかありますか？

長戸 あります。— えっ!? そういうのって、マンガの中だけだと思つてたけど、本当にあるんですね。

長戸 はい。劇場はよく、出る、と言われてるんですよ。舞台上にスタッフさんのお部屋があつて、ふと見たら明かりがついていて人が立っていたんです。誰かいるのかなと思つて聞いたら、「え？ いまませんよ。あの部屋、カギがかかつていて誰も入れません」：つてね。

— え、こわい。

長戸 本当にあった話だけど、劇場の名前は言えませ

ん。ただ中野区の劇場ではありません。

寺戸 うちじゃなくて、良かったです（笑）。

できるかどうかはあとで考える！ 脚本の極意

— 舞台の脚本を書くときに気をつけようと思つているところありますか？

長戸 あります。この脚本を読んで、役者たちが楽しく演じてくれて、お客さんが見たときに楽しんでくれるかな？ って考えながら描いています。

— ということはつまり、私たちライター倶楽部は、読む人のことを考えながら書けばいいってことか！ 寺戸さんも劇団を主宰されていて、脚本を書きますよね。どうですか？

寺戸 僕は脚本を書く時点では、「これできるかな？」と考えないようにしています。たとえば、これをやったらお金がすぐかかるよとか。長戸さんと同じで、まずお客さんが楽しんでくれるお話を書く。枠や制限を考えないようにしています。

長戸 自分が思つたことを、素直に言葉にしていくととてもいいものを書けると思いますよ。

— でも、お芝居の脚本って、長い文章を書かないといけないですよ。役者さんが舞台上でセリフを忘れてたら、どうするんですか？

長戸 ごまかします。自分が忘れてても、相手のせい



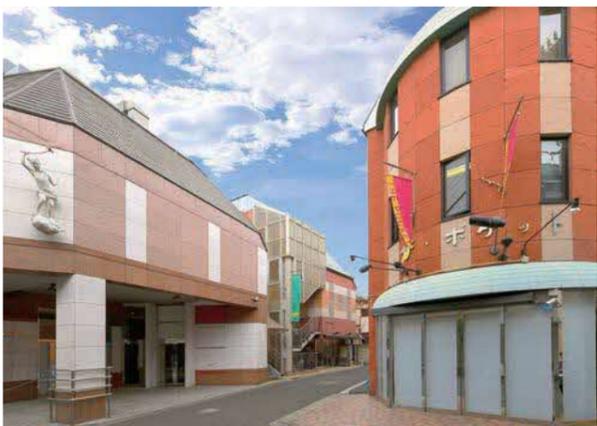
ながと かつひこ **長戸勝彦さん**

俳優、演出家、脚本家。「東京印」、「Sweat&Tears東京キッドブラザーズ44th」、「男メ天魚」を旗揚げ。3つの団体の主宰プロデューサーを務めながら、自らが作・演出も手がけている。



てらど たかゆき **寺戸隆之さん**

上智大学在学中に演劇ユニット、ノアノオモチャバコを結成。2006年から同団体を劇団化し脚本・演出を務める。2018年にポケットスクエアの劇場支配人に就任。



ポケットスクエア

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目22-8
TEL 03-3381-8422
JR中央・総武線／東京メトロ東西線
中野駅南口より徒歩5分

にしたり（笑）。

寺戸 あはは（笑）。

長戸 というのは冗談で、なんとか乗り切るしかないで、アドリブとかですよ。— でもアドリブによっては後のストーリーとかも変わっちゃったりしないんですか？

長戸 ストーリーが変わらないようなアドリブをします。

— さすがだね。役者さんはそういうこともしていかなきゃいけないんだね。私絶対、セリフ覚えられないさそう！（了）

東中野から
アートを発信!

デンギャラリーで、 ブキミかわいい♡ 90sポップカルチャーに 出会う

オーナーのランドルフデンさん(91歳)が、「若いアーティストを応援したい」という気持ちからオープンしたギャラリー。ここでは、いろいろなアーティストたちの作品を見ることができるよ。今回は、90sポップカルチャーから影響を受けた安原トモさんの個展「REVIVAL」を見してきました。ポップカルチャーってどんな感じだ!? オーナーのデンさんにもお話を聞いたよ!



安原トモ個展「REVIVAL」

90sポップカルチャーから影響を受けた作者が、それを独自の視点で現代にリバイバルさせた個展。どこかで昔求めていたトゲトゲした刺激や、はたまた、なにか切なくなるような懐かしさを感じられるかも。

※現在は終了

中野区 ミライ★ライター倶楽部 こんなことをやりました。その2

第3回『楽しい気分を書いてみよう!』 ～いざ執筆～



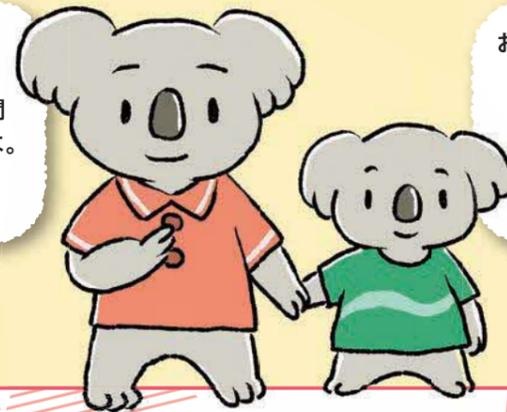
この日までに、各自、街に出て、取材やインタビューをしてきました。それぞれどんな取材をしてきたのか発表したあとは、いよいよ執筆スタート! 原稿用紙はどう使ってもOK。消しゴムも使いたい人だけ。文字数や文体の指示は一切なしで、自由に書いてもらいました。みんな黙々と作業……なわけはなく、しゃべりながら動きながら、大騒ぎしながらの執筆タイムでした。「ちゃんと書いている!」とぬきうちでチェックするけど、みんなしつかり書いているのが不思議!

第4回『書いたらちょっと寝かせて、もう一回読む!』 ～みんなで添削会～



前回に引き続き、今回も執筆タイム。お家で作業してきた人もいれば、一週間ぶりに書くという人もいます。自分以外の原稿を読むことで、いろんな発見があったね。編集後記まで書いたら、執筆作業はすべて完了! 短い時間だったにも関わらず、全員書きまりました。そのあとは全4回の講座のまとめ。講師から、メンバー一人一人に向けて文章のフィードバックをしました。そして最後はやっぱり、みんなでバスケット! みんなお疲れ様でした!

うん。インタビューはなかなか緊張したよ。でもみんなたくさん質問してくれてうれしかったよ。次はたけしも呼ばれるといいね。



お父さんだけ、インタビューされていいな。ぼくならもっと上手に答えられたと思うよ。次こそはぼくも呼んでほしいな。

腹がへってはアートは楽しめない!

おいしい中野グルメ探訪

アートに詳しい人は、おいしい食べ物にもくわしいとか。ということで、今回、インタビューにご協力いただいた方々に、中野区でおすすめのグルメを教えてくださいました。アートを楽しんだあとは、おいしいグルメでお腹いっぱいになろう!



ぎょうざ しし まる ひがし なかの てん 餃子や獅丸 東中野店

教えてくれた人

ランドルフデンさん、安原トモさん

食べた人

ゆーかりのはっぱ (SH)

にんにくあり…酢醤油で食べるとよく合う。にんにくにおいては、にんにくなしとくらべると少ししか変わらず、食べやすい。具はキャベツや肉など。

にんにくなし…にんにくありより、素材の味が強く、そのままでもおいしい。デンさんによると、餃子はすべて手作りで、お鍋で焼いているそう。

〒164-0003 東京都中野区東中野1丁目32-5
Ksコート山手
JR総武線東中野駅より徒歩約3分
TEL03-5937-4401
不定休

すみびや とり くし はっ ちん なかのみなみぐちてん 炭火焼き鳥 串八珍 中野南口店

教えてくれた人

東京印主宰 長戸さん、
ポケットスクエア支配人 寺戸さん

食べた人

まなせんばい

からしと味噌の2種類のタレ。からしは苦手だからわからないけど、味噌は焼き鳥とすごく合っていて美味しかった。今度は色々な種類を食べに行きたいです。

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目36-10
坂口 中野駅前ビル 1F
JR総武線中野駅南口より徒歩1分
TEL03-5328-3577
定休日 月・火



BALACLA

特徴は宇宙人みたいなことぐらい？ はだか？ ああ、オーバーオール着てるんだ。可愛いね。

LEATHER FACE HEAD

夢に出てきそう。呪われそう!

BUNNY

「ニワトリとうさぎって、ブキミで、僕の好きなモチーフなんです」(安原)
うさぎは肉の上に立っているみたい。血がついてる。足に対して手が長い。あれ？ 足と手はほぼ同じ長さなはず……。



安原トモさん

安原トモさんに創作の極意を聞いた!
—なんでアートの道に進んだの？
安原 好きだったからだね。絵を描いたり、ものを作るのが。だけど、親戚に彫刻家がいことが大きな理由かな。—この中で一番時間がかかった作品は？
安原 はっきりいってありません。同時進行なんだよ。モチベーションが上がりそうな作品から作っていく。作品によって行き詰まるときと、進むときがあつて、できるものから手をつけていくんだ。



デンさん

デンさんにとってアートとは?
「芸術っていうのは表現、自分の感情を訴えるもの。たとえば絵、彫刻、写真などの作品があるよね。それを見た人が、気持ちがいいと思えるものなんです。一度見ただけではわからない。何回も作品を見てもいいので、よくわかる。文章も同じ。自分のことを表現できて、それを読む人が楽しければ、なんでも芸術になるんです。野球の大谷翔平いるでしょ。大谷は芸術どころじゃありません」



FLASH

「イライラして、うわーって気持ちのときがあるでしょ？ そういうときに描いた作品です」(安原)
色がたくさん。マークが模様になってる。

キャラクターショーやワークショップなど、楽しみ盛りだくさん!

『中野×杉並×豊島アニメマンガフェス2024』

潜入レポート

マンガやアニメのカルチャーを発信すべく、3つの区が合同でフェスを開催。マンガと聞いたら黙っていられない倶楽部のメンバーたちが、イベントに潜入してきました。当日の様子やみどころを、自由に各自レポートします!

1000人が遊びに来るビッグイベント

プリキュアショーには予約が1日あたり、408人。今まさにプリキュアショーをやっているが、立ち見が200人ほどいた。公式な数字はまだ出ていないが、座りと立ち見で合計400人。なのでショーだけで約800人。サイボーグ009のイベントで200人来るので、たまたまた来たら人が100人だとしたら、大体1000人前後来る。1000人というのは結構な人数なのでおどろいた。中野区役所のシェアノマでワークショップをしている濱崎さんにも話を聞いた。

「僕はみんなに今日やってもらったようなアニメーションのワークショップを考える仕事をしているんだ。毎回同じワークショップではあきてしまうから、いろいろなプランを考えているんだ」



なぜこの仕事についたのだろう。「僕はもともと漫画家になりたくて、マンガを描いて投稿してただけど、まったく売れなかったんだ。それでも僕は絵やアニメに関わる仕事をしたいので、そこで杉並アニメーションミュージアムのアアルバイトからはじめて、今ワークショップ担当になったんだよ。自分の好きなことができて幸せだよ」という。だれもが自分の好きな仕事につけるわけではないことがわかった。まずは小さい仕事からはじめ、いつか夢を叶えるのはとても素敵なことだと思う。濱崎さんの話ははつきりしていてわかりやすく、とても興味がわいた。(Ayaka)



ワークショップを説明する、杉並アニメーションミュージアムの濱崎さん。

ワークショップを考えるのは毎回新鮮

濱崎さんにワークショップの仕事について、やりがいはいかかをインタビューしました。濱崎さんは、「ワークショップの担当といっても、毎回違う担当をさせてもらっている。いつも違うことをできるところが楽しくてやりがいがあります」とおもしろそうに言っていました。

そして濱崎さんは「いつか、このワークショップに来てくれた子が、アニメ監督になって、『このワークショップがきっかけでアニメに興味を持ちました』と言ってくれることを目標にがんばっています」とすてきな夢を語ってくれました。私は濱崎さんの言葉を聞いて、ますますアニメへの関心が深まって、より一層、絵を描くことが好きになった気がします。濱崎さん、ありがとうございました。

中野区はアニメを推しています!!

私たちは区役所の伊藤さんにもインタビューしました。伊藤さんの話によると、「中野区はアニメ



中野区シティプロモーション係の伊藤さん。中野区の観光事業について教えてくれた。

の制作会社が多くて、『ワンピース』や『ドラゴンボール』の東映アニメーションさんに『進撃の巨人』や『呪術廻戦』で有名なマッパさん、そしてあの『名探偵コナン』のトムス・エンタテインメントさんも中野区です」と言っていました。私はこの伊藤さんの話を聞いて、「そんな有名どころのアニメ制作会社が中野区にあるんだ!」とものすごくおどろきました。

さらに伊藤さんは「中野区にはブロードウェイもあるんで、僕は中野にアニメのイメージを持っています。また、そのイメージを使って観光などに力を入れようと考えています」と話しています。「中野区、すげえなあ」と私はついに語彙力を失ってしまいました(笑)。伊藤さん、ありがとうございました。(あさか)



「中野区、すげえなあ」と私はついに語彙力を失ってしまいました(笑)。伊藤さん、ありがとうございました。(あさか)



「中野区、すげえなあ」と私はついに語彙力を失ってしまいました(笑)。伊藤さん、ありがとうございました。(あさか)

アニメ制作ワークショップも体験

ワークショップを担当している濱崎さんに話を聞いた。

「僕は、みんなに今日してもらったようなアニメーションのワークショップを考える仕事をしています。毎回同じワークショップでは、みんなが飽きてしまうので、いろんなプランを考えています。なので、いつもいろいろな仕事をしています。あきることがないので、楽しい仕事です」

そこで私もワークショップに参加しました。そのワークショップは、アニメ制作体験ワークショップです。お手本を見ながら、写し描きして、コマ撮りアニメを作りました。私は猫が好きなので、猫の絵にしました。一番難しかったのは、猫の絵を写すことでした。猫の絵を一枚一枚写して、最後色を塗るのも楽しかったです。描いた絵を写真にとってつなげてもらいました。6枚だけなのに、動いていて驚きました。(Syufi)



編集後記

私はこの講座に行って、大変良かったと思っています。実は、最初はわざわざ作文を書きに行かなきゃいけないなんてめんどろだと私思ってたんです。最初は、でも、わいわいとしている倶楽部のみんなを見て、「あれ？ 作文を書くじゃなかったっけ？」と、思ったのとあまりにも違って、めちゃくちゃおどろきました。そして週がたってゆくたびに、作文の良さや、楽しさを見出させてきたような気がしました。実は、学校でも、卒業文集や、作文を書く授業が少しずつ増えてきて、倶楽部で教わった作文のくわしい書き方や、書く内容についてが、学校で大変役に立ったんです。私は、「どんなにきらいでいやなことでも、良さや楽しさを見つけ出すことができるんだなあ」としみじみ思いました。この倶楽部のみんなのおかげで、私の好きなことをまた一つ増やせて、とっても感謝しています。もちろん、この倶楽部をおすすめしてくれたお母さんにも感謝しています。また、倶楽部のみんなだけじゃなくて、ワークショップの濱崎さんや、伊藤さんにも、いろんな話を聞かせていただいて、本当によかったです。私はこの講座に行って、とても経験になったし、講座のみんなといて、とっても楽しくておもしろかったです。(あさか さりまる)

この講座に参加して、作文が上手にかけるところや、対談風の文章の書き方を学びました。友達もできてうれしかったです。(まなせんばい)

先生がやさしかった。学校で作文を書くよりもここで書くほうが楽しかった。(Syufi)

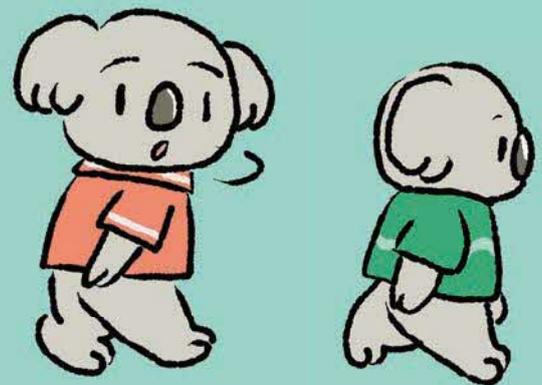
わたしは、講談師というのは、何だろうとあまり興味をもたなかったけど、このインタビューをして、とても興味をもつことができました。そして、桃太郎の一席を講談でしてくれたとき、すごく迫力がありました。楽しく山緑さんとお話することができました。また、講談の知らないことも知れてよかったです。(田中氏)

ぼくはギャラリーや餃子について取材しました。ぼくがデンギャラリーに行ったときは安原トモ個展でしたが、展示は2週間ごとに変わるそうです。ぜひ行ってみてください。また、餃子はとてもおいしくテイクアウトもでき、飲み物もおいしそうで、店の人もやさしいので、ぜひ行ってください。(ゆーかりのはっば (SH))

中野区役所で、アニメ作りを体けん出来て、楽しかったです。コアラリュウイチが、リアルと、イラストの差がすごくて、私の推しのちいかわは、そんな風にならないでほしいです。たけしだけが、なぜひらがなのかも、ちょっと知りたいです。(ちいかま)

講談師の山緑さんが、きのこの山派でうれしかった。あと、やきとり食べたかった。(コアラ・セリナ)

私は取材をして、アニメフェスのことをしっかりと知ることができました。1日でイベントに千人前後来るのはとてもおどろきました。体験はなぞったり色をぬったりするのが楽しかったです。濱崎さんの話しははっきりしていてわかりやすく、おもしろかったです。プリキュアショーには小さい女の子が多かったです。ショーをやっているということはそこまでの人気があるとわかりました。ワークショップの内容を考えるのはとても楽しそうで、私も一回でいいからやってみたいと思いました。(Ayaka)



I never had any friends later on like the ones
I had when I was twelve.

Jesus, does anyone..